

《 国際文化学科 卒業論文題目一覧 》

2004年度

卒業論文題目	指導教員
日韓国交正常化と米国の冷戦政策	平田雅己
Industrialization and the Beauty of Nature	島根國士
広告の東西－日本とアメリカを軸にして－	成田興史
Iago in Othello and Satan in The English Literary Tradition	島根國士
E・W・サイードとパレスチナ問題	平田雅己
海外年金生活の現状と可能性－マレーシア キヤメロン・ハイランドでの事例を中心に－	野村直樹
外国人観光客を「受け入れる」人々－東京台東区、澤の屋旅館とその周辺のケーススタディ	野村直樹
ミンストレル・ショーから探る人種意識	山本明代
クリントン政権期におけるアメリカの対北朝鮮政策－「米朝枠組み合意」を中心に－	平田雅己
18世紀のフランスと女性－エミリー＝デュ・シャトレ『幸福論』の考察－	寺田元一
後続前置詞のコーパス分析－心理状態を表す先行語と前置詞の組み合わせ－	日木満
飲茶はどのように受け入れられているのか－名古屋における飲茶－	やまだあつし
中世フランスの大聖堂と彫刻－パリ・ノートル・ダム大聖堂西正面「最後の審判」の中央扉口について－	寺田元一
北朝鮮難民－日本で見えた亡命支援団体の活動－	やまだあつし
芥川賞の話題性	谷口幸代
豊穡なるインド－なぜインドは豊かなのか－	赤嶺淳
地震をめぐる象徴性－村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』論－	谷口幸代
Lights in Nature and Human Beings－G.M.Hopkins'Sonnets in 1877－	島根國士
北アイルランド問題とIRA	松本佐保
エビス・大黒信仰	服部幸造
ハプスブルク帝國崩壊に関する考察	土屋勝彦
古着の可能性－リデュースとリユースから考える－	赤嶺淳
19世紀ドイツ国民意識の成立過程－ナショナリズムの表象をめぐって－	森田明
ウイスキー認識論－蒸留所巡りから見るスコットランド酒文化－	野村直樹
ジャン・マリ＝ル・ペンとフランス	寺田元一
日本森林文化誌	服部幸造
玄関に関する考察	服部幸造
発展型伝統としての琉球紅型－その変遷と未来－	野村直樹
地域の多文化・多言語社会化－愛知県岡崎市での調査より－	佐野直子
外国人観光客へのホスピタリティ－とは－観光業最前線に立つ人々の京都観光への思い－	野村直樹
万葉の植物	服部幸造
フランスのカフェの文化的役割－1930年代～1950年代を中心に－	寺田元一
ナンバ歩きと踊り－日常的所作と非日常世界－	成田興史
大仙院枯山水庭園－庭園の構成と作庭者－	服部幸造
画家グスタフ・クリムトに関する考察－クリムトの描いた女性と風景と追って－	土屋勝彦
OralityとLiteracy－Chatメディア環境に言及して－	成田興史
映画『田園に死す』におけるアンガージュマン－寺山修司の目指した抑圧からの解放－	谷口幸代
愛知県の大学の中国関連学部について	やまだあつし
日系アメリカ人のアイデンティティ問題について－ハワイとアメリカ本土との比較考察の試み－	成田興史
言語政策による国民統合－日本とシンガポールの「国語」事情－	成田興史
映画論からみる現代－グローバリゼーションとローカリゼーション－	成田興史
郷土を舞台とする新美南吉の童話－外国を舞台とする童話との対比から－	谷口幸代
語り部として、伝承者として－遠野の阿部やアさんのケーススタディ－	野村直樹
安部作品における失踪者－『砂の女』『他人の顔』『燃えつきた地図』をめぐって－	谷口幸代
エコロジーな食器産業－持続可能な社会の形成に向けて－	赤嶺淳
日本語におけるお詫び表現について－使用状況および用法を考察－	服部幸造
異文化の中に生きるチャイナタウン－アメリカのチャイナタウンと日本のチャイナタウンの比較－	成田興史
キタイスカヤとソフィスカヤから見るハルビンの変化－20世紀後半のハルビン街づくりを中心に－	やまだあつし